

## 第7回 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会

### 議事要録

日 時：2020（令和2）年1月18日（土）

午前10時から午前11時40分

場 所：資源物中間処理施設

参加者：5名

傍聴者：4名

#### 《説明内容》

- ・ 操業状況（11・12月）の説明

#### 《確認事項》

- ・ 第6回議事要録の確認

#### 《主な質疑等》

##### 1 施設の操業状況について

- （1）月別搬入実績 （2）展開検査の結果（ペットボトル）

##### 2 意見交換

（委員）

- ・ 武蔵村山市は事前に選別してから搬入しているにも関わらず数字が一番高い。これ（残さの量が多い）については調査すべき。サンプル量が少ないので、増やしてもらいたい。

また、展開検査の時に議員や市の担当者に来てもらう必要があると思う。

（組合）

- ・ 武蔵村山市の残さについては、燃えないもの、金属、缶やビンはこのデータのとおりほとんどなく、他市に比べて非常に低い。一方で不適合物は、ペットボトルでラベルやキャップが付いているものが多かった。武蔵村山市に市民啓発が足りないのではと話しをしたら、強化してまいりますという回答をいただいています。

（委員）

- ・ あえてラベルやキャップを取り除くことはせず、このまま燃やしてしまうのですよね。

（組合）

- ・ いいえ。施設の方で、コンベアから流れてきて、間に合わないときは別の場所に置いて、コンベアが止まっているときに剥がせるものは剥がします。
- ・ 著しく汚れているものとか、ラベルがなかなか剥がせないものについては、仕方がなく燃やすほうに回しますが、剥がして、キャップをとって、資源化をしています。
- ・ 展開検査のサンプルが非常に少なく全体を表しているものではないかということですが、その通りだと思います。どういう方法が一番再現性が良いか、いろんな方法で行って、仕様書を固めて、来年度は数を増やして再現性を上げるようにしたい。

(委員)

- ・了解。この中で不適のbというのがいわゆる排除されているってことですか。

(委員)

- ・異物のB以外にも汚れのひどいものとかラベルの剥がせにくいものとかは、処理しきれないので。

(委員)

- ・その辺を知りたい。どれだけ再生に回って、どれだけ処理場の方に持ち込んじゃうのか分からないので、データが細かい方が、不適の中でも再生に回す分が出るので、焼却場に持っていくのがどれくらいかがわかると、全体が見えるかなと思います。

(委員)

- ・(ごみや資源を出す) 曜日って決まっていらないのですか。うちのマンションでペットボトルを出す日はペットボトル、曜日が違うからきちっと出ています。

(組合)

- ・曜日は各市決まっています。
- ・武蔵村山市の場合は、ペットボトルとプラスチックを一緒に収集しています。そして、武蔵村山市資源リサイクルセンターへ持って行って、そこで選別して、ここに入れる時にはペットボトルと容リプラという形にして持って来ている。ただ、武蔵村山市資源リサイクルセンターで金属類というか、電池とかボンベとかそういうのは一生懸命抜いていることは、ここで分かると思います。小平市の1回目は異物Bが1.9、これが一番高く、一方、武蔵村山市は0.17kgです。

(委員)

- ・そこで分ける時に、キャップついているとか、ラベルがついているとか分かるはずですよ。その時点で持ってきちゃいけないもの。そもそも論として。

(委員)

- ・再利用される以前の問題だと思う。ここで展開検査するのも予算がかかりますし、余計な予算です。展開検査をやらない方がいいに決まっています。そもそも論として受け入れべからずものという感じがする。それをリサイクルセンターと武蔵村山市に電話でもなんでも、ちょっとおかしいので検査してくださいと。それで数字は下がるのかなと思うのです。

(委員)

- ・市民から出される段階からという話しをすると、選別されて武蔵村山市の数字が良くなったからと言って、それ(リサイクルセンターでの分別)がなくなるわけじゃないですか。今後収集方法を統一させるということは。統一した直後は武蔵村山市から出てくるごみはすごいことになりそうな気はしますが、武蔵村山市の広報にがんばってもらうしかない。

(組合)

- ・今回こういう数字も出ているので各市に返しながらか、特に武蔵村山市はこういう数字が出ているわけだから、啓発に励んでくださいというところを我々から要望しています。

(委員)

- ・武蔵村山市が業者に委託して、選別してくださいといってるわけですね。当然そこには仕様書で、選別の際にはプラスチックでもこれ抜いてくださいと1つ入れればいいだけ。そういう当たり前の仕様書にしておけば、それをしなかったら業者が不適なわけですから、逆に武蔵村山市は限りなくゼロになる。1回選別するわけですから。

(組合)

- ・おっしゃる通りだと思います。今までは市民に向けてこうしてくださいああしてくださいと言っていましたけど、より具体的に武蔵村山市についてはデータが悪いので、そのリサイクルセンターで抜くような努力をしてくださいということを含めて要請したいと思います。

(委員)

- ・武蔵村山市民は、例えばプラスチックとペットボトルを一緒に収集しているわけじゃないですか。出す段階では一緒。だから OK って考えてしまうと思うのですよ。僕が市民だったらそう考えます。
- ・最終的には分別しているので、分けてくださいというふうに広報していただかないと、多分、センターが無くなった後とか、とんでもない不適合物が来るような気がします。

(委員)

- ・展開検査自体は実態を把握するのに、やらなくていいという話しではないと思う。やみくもに精度を上げるために回数を増やせばいいものではないので、量自体もつと増やすのか、定期的にやるとか、負担を落として少ない形でやっていただければと思います。

(組合)

- ・やってください、啓発してくださいだけではダメだなと思っています。ラベル付きのペットボトルもそうですけど、ビン、缶、この2か月で一番ひどかったのは卓上コンロがボンベ付きでそのまま出てきました。

(委員)

- ・本来考えられない。

(組合)

- ・そういうものは収集段階でわかるでしょと、きつく収集運搬の人には言いますけれど、収集運搬の人も困っています。

(委員)

- ・正直いって、プラスチックの40kgの袋の真ん中に入れられたらわからないですよ。重さだって業者の人がいちいち確認しながらやったら日が暮れちゃいます。ひとつくらいならわからないですよ。

(組合)

- ・タイヤのチェーンとかも入っていました。
- ・地球儀が入っていたり。

(委員)

- ・ボンベは発火の可能性があります。

(組合)

- ・今、ボンベだけではなくて、全国各地で電子タバコとかリチウムイオン電池でかなり火災が起きているのでなんとかしないとイケない。

(委員)

- ・ある程度悪質なものは、廃棄物処理の法律違反として告発とかあるのですか。

(委員)

- ・展開検査でそれが出てきたら。

(組合)

- ・何故か展開検査だとそういうものが少ない。ですから回数増やして、電池とかりチウムイオン電池、ボンベを、言い方悪いけれど見つけて、つきつけないでほしい。

### 3 その他

(委員)

- ・見学って何人くらいとか人数の制限ってありますか。

(組合)

- ・2つ方法があって、ふらっと来ていただいても施設内を見ることはできます。その場合には、例えばDVDを見てもらうとか、私ども職員が来て説明するという対応はできません。団体で5人くらいいただければこの場所に集まっていただいて、私どもから施設の説明をするとともにDVDを見ていただき、質疑応答にも対応させていただきます。質疑応答については清掃全般で、私ども、燃えるごみも燃えないごみもやっていますので、そちらの方も含めてお話しはできると思います。

(委員)

- ・不適合品というのは最終的にどのくらいを目指しているのですか。今15%以上です。10%とか前言っていませんでしたか。

(組合)

- ・言いました。

(委員)

- ・それをまだ目指しているのですか。

(組合)

- ・目指しています。
- ・基本的にはゼロ。意識のある方は(分別を)守っていただけたら、どうしても、可燃不燃で経験していますが、とんでもないものを入れる人がいて、不燃の方は爆発することもあります。建物の中で納まっていますけど、爆風が外に出ますので、地域の方にはご迷惑をかけているということです。

(委員)

- ・10%を目標にして、各市に呼びかけるってことですね。

(組合)

- ・ゼロを目標にして、一生懸命やっていただいて、結果が10%以下になるようにしてほしい。

～排気のシャボン玉検証を行う予定であったが、天候不良～

(組合)

- ・(シャボン玉検証について) 施設の一番上まで、機械用の階段を上がっていただいて外に出て、屋上から見るしかないの、今日は足場を用意しておきました。準備はしていたのですが、どうされますか。

(委員)

- ・日を改めた方がいい。案内してもらえれば、来れる人で。

(組合)

- ・前回、継続して検討しますとお話しさせていただきました。そこでこれだということで、シャボン玉を買ってきて、(試したところ) 良く見えるのですよ。建物から少し離れたところまで消えなくて、どこに流れるのかが良く分かった。

- ・12月に入ってやってみたのですが、(排気口の下に)屋根があって、そこに当たって、上にいってそこから風に乗って拡散するというような状況も見えたので、ぜひみなさんに視覚的に確認していただければと思って用意したのですが、残念ながら改めましょう。活性炭の方は室内なので見ることができる状況なので、ぜひというところです。

(委員)

- ・議事録の公表についてはできれば僕らの出した要望書も載せてもらいたい。そうすると対比できるので。もし必要だったらデータは渡しますから。それ載せていただければわかりやすくしていいかなと。

(組合)

- ・出してもらった(質問書)を、こちらでまとめてという形で出しています。

(委員)

- ・対比して分かるようにしてもらえばそれでいい。

(組合)

- ・いただいた内容は、事務局が要約させていただいて対比する形で作らせてもらっています。

#### 質問と要望に関する回答

(委員)

- ・抜き打ち検査の立ち合いに関してですが、空振り等があるという話でしたが、量がそんなに多く取れなくなってしまうかもしれませんけれど、抜き打ちで回収をしておいて空けるのは別日とかはいかがか。ただ、保管する場所が必要になるので、大量に保管できるかということはあるかと思いますが、3市まとめてやるかは別ですけど、3市の職員3人いる前でそれぞれの市のものを開けて、こっちの市からはこんなものが出ているよ、みたいな。

(委員)

- ・可能ならそれ有効だよな。

(組合)

- ・現状では、作業時間は1時間程度、1検体でできているのです。だから、1市分ならスペース的には不可能ではないかなと思います。ただ3市分をストックしてというのは。

(委員)

- ・難しいと。

(組合)

- ・市の担当者だけで、もし市民の方で見たいという方がこの中でいらしたら、ストックしてやるというのであれば不可能ではない。
- ・万が一のことがあったときのその対応というのがやはり(現状では)厳しいので、市民の方が直接というのは、今すぐやりますよっていう返事ができないというのが正直なところです。整理しないとイケない。

(委員)

- ・実際の現場に入るとするのは、安全上の問題。

(組合)

- ・ガラスとかが入ってくることがある。ガラスでもビンのまま入っていればそれほど危なくないのですが、割れて入っていたりすると、市民の方には危険ですね。

- ・いずれにしても市の担当者の立ち会いは要請して行いたいと思います。

(委員)

- ・臭気とはどんな臭気があるのですか。

(委員)

- ・外部の方が通った時に臭気を感じたというお話しがあった。それはもしかするとエアカーテンの性能自体が悪いからじゃないかというふうに考えた。エアカーテンの性能自体を単独でどの程度効いているのかは確認しないと分からない。

(委員)

- ・建屋を減圧してという話しです。エアカーテンや扉というのは、開口部を塞ぐイメージです。臭気が出ないようにするという設計の思想として。

(委員)

- ・減圧にしているとは、結局エアカーテンだとか、技術的にはどの程度、しかも上から下に流れる。当然下は弱いわけだから、完全ではないにしても、どの程度の効果が得られているのかということを確認する必要があるのではないか。それはできないことじゃないと思う。

(委員)

- ・差圧が測ればとは思いますが。室内室外の圧が測れば。その減圧が担保出来ているのであれば、ある程度臭気が外に出ていないという判断ができるかなと思う。

(委員)

- ・臭気というのは生ごみの臭いですか。

(委員)

- ・容リプラについているものが一番大きい。他にもあると思うけど、おそらく容リプラだと思う。

(委員)

- ・個人的にいつも気になるのは、パチンコ店のたばこがすごいです。たばこのにおいはすごいけれど、ここはあまり気になったことはない。だから、その辺のたばこのにおいにごちゃ混ぜになっているのかなど。なかなか原因は難しいと思うのですが調べる方法があるのであればやってほしい。

(組合)

- ・前回の臭気調査は、さくら苑の話しですが、あそこ（さくら苑の建物北側）に排気ダクトがある。多分厨房だと思うのですが、おいしそうなにおいがかなり出ていて、それが困りました。測定するのに。

(委員)

- ・いろいろあるにしてもエアカーテンが有効かどうかというのはいわからない。

(組合)

- ・高濃度であれば測りようがあると思う。外と中を測れば。

(委員)

- ・さっき言ったみたいに減圧を測ってみればどうなのかという。エアカーテン作動していて、こっちとこっちがきちんと減圧が保たれているかどうか。それを調べることはできるのですか。

(委員)

- ・差圧計を持って来て、外と中に入れて、一応は出せるのかなという気はしますけど。

(組合)

- ・それはエアカーテンの効き目じゃないですね。

(委員)

- ・エアカーテン単体の性能を見るのであれば風力を測ってとか、吹き出しを測るくらいです。ではそれが本当に臭気のシャットダウンになっているかという別の話になってしまうと思う。エアカーテンの機能、単体は噴き出している風の強さを測定するくらいだと思う。

(委員)

- ・エアカーテンってあくまでも補助です。たばこもそうですけど、エアカーテンで100%においを裁断することはできない。例えば臭気のある部屋から出入りすればそのにおいがついてしまって、そのまま外に出るわけです。あくまでもどの程度というのはわからないですけど。

(組合)

- ・いずれにしてもエアカーテンの業者に何かあるか聞いてみましょう。

(委員)

- ・不適合品の確認方法というのは3市が統一して分別の種類とかをきちんとやる必要があると思う。それをやらないからこうなっている。バラバラ。今すぐにやれということではないけれど、将来的にはそれを目指さなければ。分別方法とか収集方法を統一する必要があると思う。本来だったらここから働きかけるとか市同士の連絡会っていうのがあるのだから、その中でなるべく統一していこうっていう方向を目指さないと。最終的な市民理解だって得られるわけだし、市民だって自覚すると思う。最終的には3市統一というのをやる必要があると思う。

(委員)

- ・そちらの方向で動いていただいていると前回。

(委員)

- ・ごみ袋の値段だって、統一しないとおかしい。市ごとで違うというのは、それだっておかしな話し。しかも小平市に関していうと1/2。それだっておかしいし。

(組合)

- ・そういう意見があったというのは伝えます。

(委員)

- ・それは当たり前なこと、ごみ袋だって3市同じにして。3市共同でやっているのに、それを同じにしてからというのが普通かなと思うのですけれど。そもそも論として。

(委員)

- ・現状で違うのはある程度しょうがないとしても、そこを目指さなければ。ずっと前から出ている話しで、統一しなければならぬという話しは。それをぜひやってもらわないと。

(委員)

- ・議論する余地がないほど当たり前のことです。と市民が言っていたと。こちらでたぶん決められることではないと思う。

(組合)

- ・そうです。
- ・また、次回、3市に呼びかけますので、そこで意見交換とかする中で言っていただければ。

(委員)

- ・展開検査もこれだけ違うし、この問題はどうなのだという話しを相互に聞く必要が

ある。

- ・さっきのことで言えば、3市統一のこともどうなっているのか聞きたいし、だからいくらでもある。来てもらえば話しはある。

(委員)

- ・最初から作っちゃうとたぶん身構える。正直言って、そういう回答になってしまうので。そんなに難しい話しを議論として出すつもりはない。

(委員)

- ・ごみの分別とか市長がどんな考えをもっているのか知りたい。
- ・作業員の方の健康管理に関して、特に圧縮梱包している方たちや分別収集しているところも心配。活性炭や光触媒を設置していると言っても。VOCの問題とか未確認のものがたくさんあるわけだから。ましてそのフィルターがかかってない圧縮梱包の場所は危険な可能性があるのも、その方の健康診断年1回で済むのかなという気はします。制度的にはもちろんこれでいいのだろうけれど、そういう問題じゃないだろうし、事業者自体が健康管理に気を付けてあげるっていう必要があると思う。シルバー人材にしてもそうですよ。下請けの方たちに関して、直接雇用している雇用の責任だっていうのは、いつもそうです。非正規雇用が増えている中で会社本体は責任とらないで、全部そっちに押し付ける。そういう構造になっている。

(組合)

- ・以前いただいた(意見)は、選別室の音、臭い、作業環境としてどうなのという話しがあったので、そのことについては発注者というかお願いしている立場として手当をしています。今回の作業環境測定で騒音については対策工事をしましたので、その結果がいい方向に出ると期待しています。

(委員)

- ・例えば、作業してくださっている方にアンケートをとって健康状態について一定程度の調査を定期的に行っていく必要とかないのですか。こちらからの積極的な働きかけは必要じゃないのですか。事業者ができないのであれば、シルバーの方にこういうふうな状況なのとお示しして対応してもらおうとか、工夫すればいいと思うのだけど。

(委員)

- ・労働安全衛生法ってところにも書いてあるのですが、50人以上の事業所だと安全衛生委員会かなんかを設置しなければいけないみたいなものが決まっていたと思います。安全衛生法か衛生安全規則か詳細は忘れちゃいましたけど、実施されたりはしているのですか。労働者側が過半数を占めなければいけないみたいな。安全衛生委員会。そういうのできちんと、例えばその一環の中で作業現場の労働環境なり安全上のリスクアセスメントを実施して、その記録が残っているのであればそれなりに運営されているという指標の一つにはなると思う。最終的には事業所の運営となるので責任は組合さんにかかってくるのかなと。

(委員)

- ・持たなきゃいけないっていう決まりはあるのですか。

(委員)

- ・事業所によって何人以上は置かなきゃいけないみたいなことが決まっているので、この施設が該当するかどうか施設規模、従業員数かなんかで決まっているので、それまで把握していない。

(委員)

- ・何人くらい。

(組合)

- ・20×2。シルバーさんは40人。1日おきです。

(委員)

- ・何人以上は設置しなければならないのですが、それ以下で設置してはいけないものではない。

(委員)

- ・おそらく働いている方たちの労働組合とかはない。あるならその組合がある程度動くだろうけれど、ないと動きにくいという構造がある。

(委員)

- ・メタさんとかありそうですね。

(委員)

- ・メタウォーターとしては、全体としてはあるだろうけれど、ここに来ている個別の人たちは、メタウォーターの下請けになると思うので、そういう人たちがあるとは思えないので、あった方がいいと思う。その方が正常だと思うし、労働者の声が反映されるわけだから。

(委員)

- ・安全衛生委員会は確か過半数は被雇用側であることが条件みたいな、法律上で定められたものなので、そこも含めて、労働者の組合がなかったとして、代表の人が、選任してもらってそちらから出てきてもらう。

(組合)

- ・対立する形じゃなくて、そういう作業環境だとか、日頃の情報交換できる場については考えます。

(委員)

- ・搬入と搬出の差が92トンとかなり多い。水分とタイムラグだけでもこんなに増えるのですか。

(組合)

- ・水分は多いですよ。雨が降ると、収集車の方にいっぱい入っていますから。

(委員)

- ・収集車の空の状態と積んでいる状態で測っています。

(組合)

- ・はい。

(委員)

- ・なので、雨が降って単純にごみだけじゃなくて収集車に水が溜まっちゃうと全部それが搬入時に重さとして計量されてしまう。

(委員)

- ・一応収集車だって蓋があるわけだから。

(組合)

- ・タンクがついているんですけど、すごいですよ。雨の日は。

(委員)

- ・想像するだけでは考えられないですね。

(委員)

- ・累積の差ですよ。

(委員)

- ・活性炭の交換って、期間が決まっているのですか。

(組合)

- ・決まってないです。試しにやって、劣化状況も今回試験します。

(委員)

- ・なるほど。

(委員)

- ・3市の担当者への確認ですけど、それぞれ出していいのですか。

(組合)

- ・今回は行政全般でお呼びするということで。

(委員)

- ・個別でこういうことを聞きたいみたいな。

(組合)

- ・私どもに言ってもらえれば伝えます。

(委員)

- ・向こうで用意してくれるだろうから出した方がいいと思う。

(組合)

- ・3市の方はすぐお願いするような形としますので。

- ・月末、2月末目途。

(委員)

- ・2月末目途に聞きたいことがあれば、具体的なことがあれば出せばいい。

(委員)

- ・私は基本的に全般でお願いしますので、特に、ただ具体的な数値を求めることはしません。

◎終了後、活性炭の入れ替え状況の確認。参加者4名（傍聴者含む）

次回日程 3月14日（土）10：00～